学修目標と学修手段の対応表

先進工学研究科 電子システム工学専攻 修士課程（2026年度入学）

2026.4.1

学修手段		学修目標						周知	把握	成果	修了	
学修目標を達成する方法		学生の学修成果の目標（何を身に付けるか） 修了認定・学位授与の方針（DP）はこちら						学修目標と学修手段をあらかじめ学生に示す場所	学生が学修成果を把握する方法	学生の学修の成果物	修了認定（学位授与）	
		DP1		DP2	DP3	DP4	DP5					
		専門知識	倫理観	独創的かつ指導的に研究活動を行い、社会に貢献する能力	自ら情報収集・分析し、課題発見・設定・解決する能力	国際的視野を持って活躍できる能力	人間、社会および地球環境との調和の観点から評価できる能力					
修士の学位論文※1 →研究の成果物					○		○	学位論文審査基準、研究指導概要	研究指導計画書、修士の学位論文	修士の学位論文、修論発表	審査合格	
研究指導科目※2 →研究の過程		○	○	○	○	○	○	科目系統図、シラバス、学修目標と学修手段の対応表（本表）、研究指導概要	成績評価、単位修得状況、研究指導計画書、アセスメントテスト、学会発表 中間発表	レポート、単位の修得	20単位	合計30単位修得
専門科目		○									8単位	
一般教養科目			○			○					2単位	
正課外	研究倫理教育		○									
	情報倫理教育		○									

※1 学位論文のほか、「特定の課題についての研究の成果」も含む（工学研究科建築学専攻、創域理工学研究科建築学専攻等）

※2 「研究指導科目」とは、シラバス上の「授業の方法」が「卒研（研究指導）」とされている科目を指す。

学修目標と学修手段の対応表

先進工学研究科　マテリアル創成工学専攻　修士課程（2026年度入学）

2026.4.1

学修手段		学修目標					周知	把握	成果	修了	
学修目標を達成する方法		学生の学修成果の目標（何を身に付けるか） 修了認定・学位授与の方針（DP）はこちら					学修目標と学修手段をあらかじめ学生に示す場所	学生が学修成果を把握する方法	学生の学修の成果物	修了認定（学位授与）	
		DP1		DP2	DP3	DP4					
		倫理観	国際社会で活躍できる能力	課題発見・設定、解決能力	独創的かつ指導的に研究活動を行い、社会に貢献する能力	人間、社会および地球環境との調和の観点から評価できる能力					
修士の学位論文※1 →研究の成果物				○		○	学位論文審査基準、研究指導概要	研究指導計画書、修士の学位論文	修士の学位論文、修論発表	審査合格	
研究指導科目※2 →研究の過程		○	○	○	○	○	科目系統図、シラバス、学修目標と学修手段の対応表（本表）、研究指導概要	成績評価、単位修得状況、研究指導計画書、アセスメントテスト、学会発表 中間発表	レポート、単位の修得	16単位	合計30単位修得
専門科目					○	○				12単位	
一般教養科目		○	○							2単位	
正課外	研究倫理教育	○									
	情報倫理教育	○									

※1 学位論文のほか、「特定の課題についての研究の成果」も含む（工学研究科建築学専攻、創域理工学研究科建築学専攻）

※2 「研究指導科目」とは、シラバス上の「授業の方法」が「卒研（研究指導）」とされている科目を指す。

学修目標と学修手段の対応表

先進工学研究科 生命システム工学専攻 修士課程（2026年度入学）

2026.4.1

学修手段		学修目標						周知	把握	成果	修了	
学修目標を達成する方法		学生の学修成果の目標（何を身に付けるか） 修了認定・学位授与の方針（DP）はこちら						学修目標と学修手段をあらかじめ学生に示す場所	学生が学修成果を把握する方法	学生の学修の成果物	修了認定（学位授与）	
		DP1		DP2	DP3	DP4	DP5					
		専門知識	倫理観	独創的かつ指導的に研究活動を行い、社会に貢献する能力	自ら情報収集・分析し、課題発見・設定・解決する能力	国際的視野を持って活躍できる能力	人間、社会および地球環境との調和の観点から評価できる能力					
修士の学位論文※1 →研究の成果物					○		○	学位論文審査基準、研究指導概要	研究指導計画書、修士の学位論文	修士の学位論文、修論発表	審査合格	
研究指導科目※2 →研究の過程		○	○	○	○	○	○	科目系統図、シラバス、学修目標と学修手段の対応表（本表）、研究指導概要	成績評価、単位修得状況、研究指導計画書、アセスメントテスト、学会発表、中間発表	レポート、単位の修得	22単位	合計30単位修得
専門科目		○									6単位	
一般教養科目			○			○					2単位	
正課外	研究倫理教育		○									
	情報倫理教育		○									

※1 学位論文のほか、「特定の課題についての研究の成果」も含む（工学研究科建築学専攻、創域理工学研究科建築学専攻）

※2 「研究指導科目」とは、シラバス上の「授業の方法」が「卒研（研究指導）」とされている科目を指す。

学修目標と学修手段の対応表

先進工学研究科 物理工学専攻 修士課程（2026年度入学）

2026.4.1

学修手段		学修目標				周知	把握	成果	修了	
学修目標を達成する方法		学生の学修成果の目標（何を身に付けるか） 修了認定・学位授与の方針（DP）はこちら				学修目標と学修手段をあらかじめ学生に示す場所	学生が学修成果を把握する方法	学生の学修の成果物	修了認定（学位授与）	
		DP1	DP2		DP3					
		論理的・批判的に思考し、その分野の諸問題を解決して社会に貢献できる能力	倫理観	物理学の重要性と応用の可能性を認識して社会に普及、教授できる能力	国際的な視点と対話能力					
修士の学位論文※1 →研究の成果物			○	○		学位論文審査基準、研究指導概要	研究指導計画書、修士の学位論文	修士の学位論文、修論発表	審査合格	
研究指導科目※2 →研究の過程		○	○	○	○	科目系統図、シラバス、学修目標と学修手段の対応表（本表）、研究指導概要	成績評価、単位修得状況、研究指導計画書、アセスメントテスト、学会発表、中間発表	レポート、単位の修得	8単位	合計30単位修得
専門科目		○							18単位	
一般教養科目			○	○	○				4単位	
正課外	研究倫理教育		○							
	情報倫理教育		○							

※1 学位論文のほか、「特定の課題についての研究の成果」も含む（工学研究科建築学専攻、創域理工学研究科建築学専攻）

※2 「研究指導科目」とは、シラバス上の「授業の方法」が「卒研（研究指導）」とされている科目を指す。

学修目標と学修手段の対応表

先進工学研究科 機能デザイン工学専攻 修士課程（2026年度入学）

2026.4.1

学修手段		学修目標						周知	把握	成果	修了	
学修目標を達成する方法		学生の学修成果の目標（何を身に付けるか） 修了認定・学位授与の方針（DP）はこちら						学修目標と学修手段をあらかじめ学生に示す場所	学生が学修成果を把握する方法	学生の学修の成果物	修了認定（学位授与）	
		DP1	DP2		DP3	DP4	DP5					
		専門的知識	倫理観	国際社会で活躍できる能力	課題発見・設定、解決するデザイン思考能力	独創的かつ指導的な研究活動による社会貢献能力	人間、社会および地球環境との調和の観点から俯瞰的に評価できる能力					
修士の学位論文※1 →研究の成果物					○		○	学位論文審査基準、研究指導概要	研究指導計画書、修士の学位論文	修士の学位論文、修論発表	審査合格	
研究指導科目※2 →研究の過程		○	○	○	○	○	○	科目系統図、シラバス、学修目標と学修手段の対応表（本表）、研究指導概要	成績評価、単位修得状況、研究指導計画書、アセスメントテスト、学会発表 中間発表	レポート、単位の修得	16単位	合計30単位修得
専門科目		○			○	○					12単位	
一般教養科目			○	○							2単位	
正課外	研究倫理教育		○									
	情報倫理教育		○									

※1 学位論文のほか、「特定の課題についての研究の成果」も含む（工学研究科建築学専攻、創域理工学研究科建築学専攻）

※2 「研究指導科目」とは、シラバス上の「授業の方法」が「卒研（研究指導）」とされている科目を指す。

科目と学修目標の対応表

先進工学研究科 全専攻 博士後期課程（2026年度入学、専攻分野の名称：工学）

2026.4.1

学修手段		学修目標					周知	把握	成果	修了
学修目標を達成する方法		学生の学修成果の目標（何を身に付けるか） 修了認定・学位授与の方針（DP）はこちら					学修目標と学修手段をあらかじめ学生に示す場所	学生が学修成果を把握する方法	学生の学修の成果物	修了認定（学位授与）
		DP1		DP2	DP3	DP4				
		極めて高度な専門知識	極めて高度な倫理観	自立し、独創的かつ指導的に研究活動を行い、社会に貢献する能力	自ら情報収集・分析し、課題発見・設定、解決する能力	国際的視野を持って先端的研究分野を開拓できる能力				
博士の学位論文※1 →研究の成果物		○			○	○	学位論文審査基準、研究指導概要	研究指導計画書、博士の学位論文	博士の学位論文、修論発表	審査合格
研究指導科目※2 →研究の過程		○	○	○	○	○	科目系統図、シラバス、学修目標と学修手段の対応表（本表）、研究指導概要	成績評価、単位修得状況、研究指導計画書、アセスメントテスト、学会発表	レポート、単位の修得	単位修得（単位数は専攻によって異なる）
一般教養科目			○							
正課外	研究倫理教育		○							
	情報倫理教育		○							

※1 学位論文のほか、「特定の課題についての研究の成果」も含む（工学研究科建築学専攻、創域理工学研究科建築学専攻）

※2 「研究指導科目」とは、シラバス上の「授業の方法」が「卒研（研究指導）」とされている科目を指す。